

## ソーシャルワーク論Ⅴ

担当教員 豊田 保

配当年次 3年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

下位学年で学習したソーシャルワークの知識と得られた知見を用いて、相談援助を実践する際に求められる価値と倫理、専門知識と技術について理解する。特に以下の点について学習する。

- ① ソーシャルワークにおける対象、ケアマネジメント、グループワークを理解する。
- ② ソーシャルワークにおけるコーディネーション、ネットワーキングを理解する。
- ③ ソーシャルワークにおける社会資源の調整及び開発について把握する。

## 【授業の展開計画】

| 週  | 授 業 の 内 容                            |
|----|--------------------------------------|
| 1  | 社会福祉士・精神保健福祉士の相談援助活動の対象及び基本的な考え方について |
| 2  | 集団の性質やグループダイナミクスについて                 |
| 3  | 集団を活用した相談援助の意義、目的について                |
| 4  | 集団を活用した相談援助の方法、留意点について               |
| 5  | 自助グループについて                           |
| 6  | ケアマネジメントの目的、方法について                   |
| 7  | アウトリーチの目的、方法について                     |
| 8  | 社会資源の活用・調整・開発について                    |
| 9  | ネットワーキングの目的、方法について                   |
| 10 | 各種のネットワーキングの実際について                   |
| 11 | ケア会議の意義と目的について                       |
| 12 | 「個人情報保護法」の運用について                     |
| 13 | ITを活用した支援方法の意義と目的について                |
| 14 | ITを活用した支援方法と留意点について                  |
| 15 | ソーシャルアクションによる社会システムづくりについて           |

## 【履修上の注意事項】

社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験を受験する者は、必ず履修しなければならない（30分程度）。授業前の課題学習と授業後の復習を行うこと（30分程度）。

## 【評価方法】

期末試験によって評価する（100％）。

## 【テキスト】

社会福祉士養成講座編集委員会編 8 『相談援助の理論と方法Ⅱ』（最新版），中央法規出版。

## 【参考文献】

授業の進展に応じて提示する。